



CHAPTER 4

デバイス グループ管理関数

この章では、次のデバイス グループ管理関数に関する情報を示します。

- 「[addDevicesToGroup](#)」 (P.4-1)
- 「[createDeviceGroup](#)」 (P.4-2)
- 「[deleteDeviceGroup](#)」 (P.4-3)
- 「[listAllGroups](#)」 (P.4-3)
- 「[removeDevicesFromGroup](#)」 (P.4-4)
- 「[renameDeviceGroup](#)」 (P.4-5)

addDevicesToGroup

構文

```
IDStatus addDevicesToGroup(UserToken token, String[] dev_ids, String group) throws  
RemoteException;
```

説明

この関数は、指定したデバイス グループにデバイスを追加します。デバイスは複数のグループに追加できます。



(注)

デバイスを 1 つのグループに維持する場合は、`removeDevicesFromGroup()` 関数を呼び出して対象のデバイスを他のグループから削除します。

入力パラメータ

パラメータ	タイプ	値	説明
token	UserToken、 必須	—	ユーザの認証パスを表すトークン。これは、ユーザが <code>login</code> 関数を呼び出して、バックエンド サーバがそのユーザを認証した後に取得されます。
dev_ids	String の配列、 必須	—	グループに追加するデバイス ID の配列。
group	String、 必須	—	グループの名前。

戻り値

この関数は `IDStatus` オブジェクトを返します。操作が成功した場合、`IDStatus` で次の情報が返されま

- エラー コードは `ClmErrors.SUCCESS` になります。
- 追加されるデバイスの ID が `IDStatusItem` 配列に格納されます。
- 正常に追加された各項目の `IDStatusItem` エラー コードが `CLMError.SUCCESS` になります。

エラーと例外

システム エラーによって操作が完了しなかった場合は、`RemoteException` がスローされます。

エラーが発生した場合、この関数は、エラー コードとエラー メッセージを含む `IDStatus` オブジェクトを返します。

createDeviceGroup

構文

```
Status createDeviceGroup(UserToken token, String group) throws RemoteException;
```

説明

この関数は、指定した名前を持つ新しいデバイス グループを作成します。

入力パラメータ

パラメータ	タイプ	値	説明
token	UserToken、 必須	—	ユーザの認証パスを表すトークン。これは、ユーザが <code>login</code> 関数を呼び出して、バックエンド サーバがそのユーザを認証した後に取得されます。
group	String、必須	x21 ~ x7A の範囲の ASCII 文字を含む最大 64 文字の文字列	グループの名前。

戻り値

この関数は `Status` オブジェクトを返します。操作が成功した場合は、エラー コードで `ClmErrors.SUCCESS` が返されます。

エラーと例外

システム エラーによって操作が完了しなかった場合は、`RemoteException` がスローされます。

エラーが発生した場合、この関数は、エラー コードとエラー メッセージを含む `IDStatus` オブジェクトを返します。

deleteDeviceGroup

構文

```
Status deleteDeviceGroup(UserToken token, String group) throws RemoteException;
```

説明

この関数は、システムからデバイス グループを削除します。このグループに属するデバイスは削除されませんが、グループ化されていない状態になります。

入力パラメータ

パラメータ	タイプ	値	説明
token	UserToken、必須	—	ユーザの認証パスを表すトークン。これは、ユーザが login 関数を呼び出して、バックエンドサーバがそのユーザを認証した後に取得されます。
group	String、必須	—	デバイス グループの名前。

戻り値

この関数は Status オブジェクトを返します。操作が成功した場合は、エラー コードで ClmErrors.SUCCESS が返されます。

エラーと例外

システム エラーによって操作が完了しなかった場合は、RemoteException がスローされます。

エラーが発生した場合、この関数は、エラー コードとエラー メッセージを含む IDStatus オブジェクトを返します。

listAllGroups

構文

```
public IDPagingInfo listAllGroups(UserToken token, Pagination pageinfo) throws RemoteException;
```

説明

この関数は、ステータス、総数、およびグループ名の配列を含む IDPagingInfo オブジェクトを返します。

有効なオフセットと最大数を指定してページ分割オプションを設定できます。次の例は、オフセットと最大数を指定してページ分割を設定する方法を示します。

1 ページ目を取得するには、次のようにします。

```
Pagination p = new Pagination(0, 10)
```

5 ページ目を取得するには、次のようにします。

```
Pagination p = new Pagination(50, 10)
```

ページ分割せずにすべてのレコードを取得するには、次のようにします。

```
Pagination p = new Pagination(0, -1)
```

入力パラメータ

パラメータ	タイプ	値	説明
token	UserToken、 必須	—	ユーザの認証パスを表すトークン。これは、ユーザが login 関数を呼び出して、バックエンドサーバがそのユーザを認証した後に取得されます。
pageinfo	String、必須	—	offset と max を含むページ分割オブジェクト。offset は、この関数によって取得する、最初のレコードセットからの相対的なオフセットを指定します。max は、取得するレコードの最大数を指定します。max を -1 に設定すると、値が -1 であるすべてのレコードが返されます。

戻り値

この関数は、ライセンスの配列を含む PagingInfo オブジェクトを返します。offset がレコード数よりも大きい場合は、サイズが 0 の配列が返されます。操作エラーが発生した場合、Status オブジェクトはエラーコードとエラーメッセージを返します。

エラーと例外

システムエラーによって操作が完了しなかった場合は、RemoteException がスローされます。

エラーが発生した場合、この関数は null を返します。

removeDevicesFromGroup

構文

```
IDStatus removeDevicesFromGroup(UserToken token, String[] dev_ids, String group) throws RemoteException;
```

説明

この関数は、指定したデバイスグループからデバイスを削除します。個々のデバイスはグループ化されていない状態になりますが、デバイスインベントリには残ります。インベントリからデバイスを削除するには、deleteDevices() 関数を使用します。

入力パラメータ

パラメータ	タイプ	値	説明
token	UserToken、 必須	—	ユーザの認証パスを表すトークン。これは、ユーザが login 関数を呼び出して、バックエンドサーバがそのユーザを認証した後に取得されます。
dev_ids	String の配列、 必須	—	グループから削除するデバイス ID の配列。
group	String、必須	—	デバイスグループの名前。

戻り値

この関数は IDStatus オブジェクトを返します。操作が成功した場合、IDStatus オブジェクトで次の情報が返されます。

- エラー コードは ClmErrors.SUCCESS になります。
- 追加されるデバイスの ID が IDStatusItem 配列に格納されます。
- 正常に追加された各項目の IDStatusItem エラー コードが CLMError.SUCCESS になります。

エラーと例外

システム エラーによって操作が完了しなかった場合は、RemoteException がスローされます。

renameDeviceGroup

構文

```
Status renameDeviceGroup(UserToken token, String group, String new_name) throws
RemoteException;
```

説明

この関数は、特定のデバイス グループの名前を変更します。グループに含まれるデバイスは変更されません。

入力パラメータ

パラメータ	タイプ	値	説明
token	UserToken、 必須	—	ユーザの認証パスを表すトークン。これは、ユーザが login 関数を呼び出して、バックエンド サーバがそのユーザを認証した後に取得されます。
group	String、必須	—	デバイス グループの現在の名前。
new_name	String、必須	—	デバイス グループの新しい名前。

戻り値

この関数は Status オブジェクトを返します。操作が成功した場合は、エラー コードで ClmErrors.SUCCESS が返されます。

エラーと例外

システム エラーによって操作が完了しなかった場合は、RemoteException がスローされます。

エラーが発生した場合、この関数は、エラー コードとエラー メッセージを含む IDStatus オブジェクトを返します。

■ renameDeviceGroup